

県立美術館が目指すべき姿と展開例（運営全般）

〈目指す姿〉

「みる・かたる・つくる」をキーワードに、伝統を継承しながらも、新たな取り組みにもチャレンジし、幅広い年齢層の県民に繰り返し利用してもらえる美術館

項目	課題	展開例
持続的運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立美術館の位置付け、役割の明確化 ・ 人材育成(館で働く全ての職種、コーディネーター、ボランティア) ・ 外部資金を含めた財源の安定的な獲得 ・ レストラン等アメニティーの充実 	<p>〈ブランドカの創出〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 充実したコレクションや広大な展示室など現在の県立美術館の強みを活かした事業の推進による県立美術館のイメージの確立 ○ ビジュアル・アイデンティティ(VI)の構築による視覚的イメージの明確化(シンボルマーク、ロゴタイプ、サイン計画等) <p>〈美術館力向上につながる人材の確保、育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 美術教員の配置 ● 待遇等の職員研修の充実による利用者と接する全ての職員のスキルアップの向上 ○ ボランティア研修の拡充による活動内容の多様化、高度化 ○ 様々な県民ニーズに応えられる柔軟な思考、表現者としての経験、教育者としての育成意欲、地域連携に関する企画力等を重視した職員配置 ○ 外国語対応ができる人材、美術館と利用者を繋げるコーディネーターとなる人材の確保 <p>〈多様な財源の開拓〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 競争的資金への積極的な応募 ○ 企業協賛やネーミングライツ、クラウドファンディング等による財源確保の手法の検討 ○ 料金体系の見直しによる受益者負担の適正化
事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の意見や先進事例を取り入れる体制の確立 ・ 既存の枠組みに囚われない活動への取り組み ・ 広報・周知活動の強化 	<p>〈憩いとくつろぎの場の創出〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ミュージアムショップやレストランの特徴付け（「ここにしかない」価値の創出） ○ 子どもや親子の専用スペースの確保と授乳室の整備 ○ ミュージアムショップやレストランの利便性向上のための施設改修、館庭（野外彫刻見学ルート等）の整備 <p>〈企画力の強化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 他の文化芸術施設等の先進的な取組の調査研究と導入検討、事業化 ○ 効果的な利用者意見聴取方法の検討、導入と改善への反映 ○ 伝統芸能や音楽、ダンスなど幅広い表現との連携 <p>〈広報力の強化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページのリニューアル ○ twitterやInstagramなどの多様な情報通信技術の活用、フリーWi-Fiの整備 ○ 旅行会社、マスコミ等への積極的な情報発信と、効果の検証、手法の改善

●：現在行っている事業

県立美術館が目指すべき姿と取組例（基本活動）

〈目指す姿〉

良質な文化芸術を県民に提供するとともに、現代の文化芸術を育てる美術館

項目	課題	展開例
調査・研究 資料収集・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵対象としている現代芸術関連資料の収集が不十分 ・ 経年劣化により活用ができない絵画等の修復、屋外のブロンズ彫刻6点の腐食劣化対策ができていない ・ 収蔵庫が狭隘化している（現状100%超） 	<p>〈美術に関する知の創造〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 郷土ゆかりの作家等に関する基礎的な調査・研究 ● 県出身又は県内在住の若手芸術家の情報収集 ○ 研究紀要や年報等への調査・研究成果の公開、発信 ○ 作品以外の資料（研究資料）の整理、データベース化、発信 <p>〈コレクションの充実〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 従来の収集方針に基づく作品購入や寄附受入の促進によるコレクションの充実 ○ 収蔵作品の経年劣化調査と計画的修復 ○ 将来が期待される若手芸術家の作品購入や寄附受入の促進によるコレクションの充実 ○ コレクションの増加に伴う収蔵庫の増築等の収蔵環境の整備 <p>〈若手芸術家の芸術活動支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「千葉の新進作家展」の拡充と定期開催 ○ 県出身又は県内在住の若手芸術家への発表の場の提供
展 示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別展は博物館・美術館全体で年1回、特別展がない場合の企画展は年1回と開催数が少ない ・ 県内の美術館格差是正のための移動美術館の充実 ・ 観覧者数が他県に比べ少なく高齢者率が高い 	<p>〈良質な美術に触れる機会の充実と鑑賞支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ギャラリートークやコレクションに関する講座の定期開催 ○ 千葉県移動美術館の拡充 ○ 音声ガイドやスマートフォンを利用した解説サービスなど、幅広い鑑賞が可能な展示手法の検討

●：現在行っている事業

県立美術館が目指すべき姿と展開例（支援・教育普及）

〈目指す姿〉

県民に文化芸術活動を行う機会と場を提供し、その活動を支援する美術館

項目	課題	展開例
美術団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体展は、実施団体が高齢化かつ固定化し、新規や若い世代の団体が参入しにくい ・ 団体展に利用する展示室の、空き期間の更なる活用 	<p>〈美術団体利用における利便性の確保と新規利用者の開拓〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 展示室使用手続きの見直し（使用料及び手数料条例の改正） ○ 搬出入や展示作業の利便性確保のための施設整備 <p>〈展示スペースの効果的活用〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学芸員のプロデュースによる展覧会の開催 ○ 開催中の美術団体の展覧会目的の来館者層に合わせたワークショップの開催 ○ 県出身又は県内在住の若手芸術家への発表の場の提供（再掲） ○ 県内各地のアートプロジェクトやアート系NPOとの連携事業の開催
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校団体利用が少ない ・ 学校支援体制の拡充 	<p>〈学校教員や学校団体の利用促進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教員向けの効果的な広報手法の調査研究、学校団体向け校外学習プログラムのPR強化 ○ 貸出キット紹介スペースの設置 ○ デジタルコンテンツ等を利用した教育プログラムの開発 ○ 千葉県総合教育センターや千葉県教育研究会造形教育部会との連携した研修プログラムの開発 ○ 学校との連携を主眼としたシリーズ展の定期開催、教科書内容を踏まえた展覧会の開催 ○ 学校団体利用時のバス送迎 <p>〈アトリエ棟の活用促進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県出身又は県内在住の若手芸術家を講師としたワークショップ等の企画 ○ 県民が自由に創作活動を行える日を設けるなど、実技講座以外のアトリエ棟を活用した事業の構築 ○ 県出身又は県内在住の若手芸術家への創作の場の提供
生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創作の場（アトリエ棟）の更なる活用 ・ 友の会に法人の加盟がない（制度はある） ・ 友の会会員の高齢化、会員数の減少 	<p>〈バリアフリーな生涯学習支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語表記の充実 ○ 障がい者のための美術鑑賞・創作活動プログラムの開発 ○ 長期入院者や老人ホーム入居者等の美術館訪問プログラムの開発 ○ 病院や福祉施設等での出張展示・ワークショップの開催 <p>〈友の会の活性化支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友の会会員を対象とした新たな魅力ある事業の実施 ○ 友の会の運営基盤や財政基盤強化に関する相談等の支援

●：現在行っている事業

県立美術館が目指すべき姿と展開例（連携）

〈目指す姿〉

連携により新たな価値を創造する美術館

項目	課題	展開例
大学等	・連携先の拡充	<p>〈幅広い大学の学生活動を支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生ボランティアの募集 ○独自のキャンパスメンバー制度の創設による大学生の利用促進 <p>〈ニーズのマッチングによる新たな博学連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○美術関係の講座を有する大学や専門学校等と連携したプログラム開発 ○教育学部を有する大学との美術教育に関する共同研究の実施 <p>〈千葉近隣美術館連絡会との連携強化〉</p>
県内博物館等	・相乗効果が期待できる安定的な連携事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○千葉近隣美術館連絡会加盟館の紹介スペースの設置 ○相互の収蔵作品を活用した共同企画展、巡回展等の定期的な開催 ○千葉近隣美術館連絡会加盟館との共同研修や人事交流による人材育成ネットワークの構築 ○千葉近隣美術館連絡会加盟館との相互割引制度の創設 <p>〈異業種連携による新たな知的サービスの提供〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県立博物館と連携し、博物館資料を美術的視点で捉えた展覧会の企画、実施 ○県立図書館との美術に関する図書資料等のリファレンスサービスの提携 ○県立図書館との横断検索システムの構築 <p>〈地元企業等との連携強化〉</p>
千葉港地域等	・千葉港地域での文化的シンボルとしての認知度が低い	<ul style="list-style-type: none"> ●千葉みなと活性化協議会が実施する事業への定期的協力 ○県内企業等が所蔵するコレクションの展覧会への活用 ○広大な美術館の敷地等を活用した近隣商業施設と連携した集客イベントの企画、実施 ○県内企業の福利厚生事業での美術館利用の促進（特別プログラムの提供） <p>〈観光資源としての地域貢献〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野外彫刻や館銘板のライトアップによる魅力的な夜間景観の創出 ○作品の屋外展示や千葉ポートパークや千葉港など周辺の豊かな環境を活かしたアートイベントの開催 ○ユニークベニューの招致

●：現在行っている事業